

授業科目(ナンバリング)		社会科教育法 I (QB221)		担当教員 担当形態		※新谷 和幸 単独			
教員免許状取得のための選択の別	①社会(中)：必修 ②地理歴史(高)：選択	単位数	2単位	開講年次	2年	展開方法	講義	開設時期	前期
科目	教科及び教科の指導法に関する科目(中学校 社会、高等学校 地歴)								
各科目に含める が必要な事項	各教科の指導法(情報通信技術の活用を含む。)								
授業のねらい									アクティブ ラーニング の類型
<p>本授業では、社会科授業における現代的課題を基に、社会科を含む学校教育で求められている授業像について把握し、学習指導要領を基に社会科における教育目標や子どもに育む資質・能力と関連させながら、主体的・協働的な活動を中心に社会科授業づくりの基礎・基本を養うことを目的とする。具体的には、教科書にある授業場面を具体的に、教科書の見開き頁で教える教育内容・学習内容、授業における目標・課題の設定、各段階の学習活動を判断する方法について学習指導要領を活用しながら主体的・協働的に考えたり、それを指導案として文章化する活動を通して、社会科指導案の構造・書き方や指導案作成の意義・意味を把握し、また作成した指導案の模擬授業を一部実践したりすることによって、社会科授業づくりの基盤となる見方・考え方を養っていく。</p>									①②③④⑤⑥ ⑦⑨⑩⑪⑫
ホスピタリティを構成する能力	学生の授業における到達目標				評価手段・方法		評価比率		
専門力	学習指導要領・教科書の分析や指導案の作成、模擬授業などを通して、社会科授業づくりの基盤となる見方・考え方を養うことができる。				<ul style="list-style-type: none"> <li>作成した指導案</li> <li>模擬授業の実践</li> <li>小テスト</li> <li>課題レポート</li> </ul>		20%		
情報収集、分析力	学習指導要領や教科書の分析、指導案や模擬授業などの作成・開発・分析を通して、社会科授業における現代的課題、学校教育で求められる授業像、授業作りにおける基礎・基本的な知識、指導案作成や授業実践を行う上でのポイントを把握できるようにする。				<ul style="list-style-type: none"> <li>課題レポート</li> <li>指導案</li> <li>模擬授業</li> </ul>		20%		
コミュニケーション力	社会科授業づくりに関する課題解決に向けた対話や議論を知的に楽しみながら、積極的に仲間と意見交流したり、活動に取り組んだりすることができる。				<ul style="list-style-type: none"> <li>授業の取り組み、意見交流・議論・発表での発言の把握</li> </ul>		20%		
協働・課題解決力	社会科授業づくりに関する課題に対して、自らの予想や意見を主体的に考えながら、課題解決に向けて仲間と積極的に意見交流し、対話を通して課題解決に取り組むことができる。				<ul style="list-style-type: none"> <li>授業の取り組み、意見交流・議論・発表での発言の把握</li> </ul>		20%		
多様性理解力	社会科授業方法に関する仲間が考えた意見や作成した指導案、実践した授業内容を受け止め、論理的・批判的に考えながらその良さ・課題を理解し、適切に表現することができる。				<ul style="list-style-type: none"> <li>授業の取り組み、意見交流・議論・発表での発言の把握</li> </ul>		20%		
出席						受験要件			
合計						100%			
評価基準及び評価手段・方法の補足説明									
<ul style="list-style-type: none"> <li>小テストは穴埋め式で授業内に行い、授業内容に基づく社会科授業づくりの基礎・基本語句を身につけたか評価する。</li> <li>課題レポートは授業終末で行い、授業づくりの課題に対し授業で学んだ見方・考え方を活用し記述できたか評価する。</li> <li>指導案や模擬授業は授業内で行い、授業で学んだ見方・考え方を活用して、作成・実践できたか評価する。</li> <li>授業の取り組み、意見交流、議論・発表の把握は、授業内で活動目的に沿った内容ややりとりができたかで評価する。</li> </ul> <p>小テストや課題レポート、指導案や模擬授業は、採点・活動後、授業内で各自に口頭・文章でフィードバックを行う。</p>									
授業の概要									
<p>公立教員、附属学校教員として約20年間の実務経験をもつ教員が担当する。義務教育段階の子どもの主体的・対話的で深い学びを実現するための社会科授業づくりの見方・考え方を養い、中学校社会科教員となるための授業力を育められるよう、ICT機器による調べ活動、ディスカッション、グループワーク、プレゼンテーションなど主体的・協働的な活動を踏まえながら、課題解決的に学ぶ。この授業の標準的な1コマあたりの授業外学修時間は、180分とする。</p>									
教科書・参考書									

教科書・指定図書：文部科学省『中学校学習指導要領（平成29年告示）解説 社会編』東洋館出版社  
 参考書：社会認識教育学会編『中学校社会科教育・高等学校地理歴史科教育』学術図書出版社  
 社会認識教育学会編『中学校社会科教育・高等学校公民科教育』学術図書出版社

授業外における学修及び学生に期待すること

中学校社会科教員となる意志と熱意を強くもち主体的・対話的な活動を踏まえ授業に真摯に取り組む学生を歓迎する。  
 授業前に、前時の学習した内容を確認して授業に臨む（90分）。授業後は学習した内容を整理して復習する（90分）。

回	テーマ	授業の内容	予習・復習
1	イントロダクション	対話を通して講義の主旨を確認し、中学校社会科授業の特徴について、資料を基に概観し、本授業の到達目標を把握する。	予習：シラバスの通読。復習：シラバスの再読、授業に対するイメージの想起。
2	社会科授業における現代的課題	各自の経験を基に社会科授業の課題を話し合い、指導要領を通して義務教育や社会科授業の現代的課題を把握する。	予習：社会科授業の課題の予想。復習：社会科授業の現代的課題の振り返り・調べ学習。
3	学校教育に求められる授業のあり方	指導要領の分析を基に、主体的・対話的で深い学びを実現する授業改善が求められる理由について議論し、その意義を理解する。	予習：学校教育で求められる授業の調査。復習：主体的・対話的で深い学びへの調べ学習。
4	社会科授業づくりの基礎・基本	指導要領や教科書の法的規定を踏まえながら、授業づくりを行ううえでの基盤的知識、やその必要性について認識する。	予習：授業づくりの基盤に対する予想。復習：指導要領・教科書の法的規定の資料調査。
5	社会科授業づくりにおける教科書分析の方法	授業づくりの基礎的内容・方法を踏まえ、グループ協議を行いながら中学校社会科授業における教科書の分析方法を把握する。	予習：社会科教科書の内容把握。復習：中学校社会科の教科書分析の方法の振り返り。
6	社会科授業づくりにおける指導要領分析の方法	これまでの既習内容を踏まえ、グループ協議を行いながら、中学校社会科授業における指導要領の分析方法を把握する。	予習：教科書分析方法の確認。復習：中学校社会科の指導要領分析の方法の振り返り。
7	社会科授業づくりにおける学習課題や目標の設定方法	これまでの既習内容を踏まえ、中学校社会科授業の具体場面の学習課題や目標の設定方法をグループで協議・分析し把握する。	予習：指導要領分析方法の確認。復習：中学校社会科授業の課題設定・目標設定の方法の振り返り。
8	社会科授業指導案の意義・構造、書き方のポイント	社会科授業指導案の内容や構造をグループで分析・検討し、指導案を作成する手順やポイント、意義について理解する。	予習：授業の課題や目標設定の方法の確認。復習：指導案作成の意義・構造・書き方を振り返る。
9	社会科模擬授業を通じた授業構成の調査・分析	社会科授業開きの模擬授業を観察し、生徒の学習活動や教師の手立ての分析を通して授業構成や指導案作成のポイントを掴む。	予習：これまでの授業づくりの方法について整理しまとめる。復習：調査・分析内容の整理。
10	観察した社会科模擬授業の指導案作成	前時で調査・分析した授業に関する情報や指導案作成の構造・ポイントを踏まえ、観察した模擬授業の指導案化を行う。	予習：前時の調査・分析内容の確認。復習：作成した指導案の修正。
11	指導案細案の分析・改善指導案の作成	指導案を互いに見合い、仲間の指導案に評価を行うとともに、協議を通して指導案を作成する上での内容や書き方を把握する。	予習：前時に作成した指導案の確認・説明するための発表練習。復習：改善指導案の修正。
12	教科書を活用した授業開発を行ううえでの教材研究	中学校社会科導入単元の授業で学ぶ内容や方法を教科書・指導要領分析を基に確認し、授業開発する上での教材研究を行う。	予習：これまでの学習内容のふりかえり。復習：教材研究で得た情報や資料の整理。
13	教科書を活用した授業開発を行う上での指導案作成	中学校社会科導入単元の授業における教材研究を基に、課題や目標の設定、授業展開を構想し、指導案を作成する。	予習：指導案作成のポイントの確認。復習：作成した指導案の修正。
14	作成指導案の交流・改善指導案の作成	指導案を互いに見合い、仲間の指導案に対する評価を書き方の観点、授業内容の観点から評価を行い、改善指導案を作成する。	予習：前時に作成した指導案の確認・説明するための発表練習。復習：改善指導案の修正。
15	模擬授業の実践・交流 ICT活用のポイント	課題設定までの授業細案の作成や模擬授業の観察・実践に関する協議を通して、授業実践や ICT活用のポイントを把握する。	予習：作成指導案の内容を確認。復習：授業実践での課題の整理・分析、授業実践内容の修正。